

社会資本総合整備計画事後評価書

令和 2年 12月 28日

計画の名称	和泉市における安全で快適な生活環境づくり (その2)																								
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		交付団体	和泉市																					
計画の目標	下水道整備により、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																								
計画の成果目標 (アウトカム指標)	<ul style="list-style-type: none"> 下水道処理人口普及率を85.2% (H27当初) から87.4% (H29末) に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率を48.9% (H27当初) から49.0% (H31末) に増加させる。 																								
アウトカム指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H31末)</th> </tr> <tr> <td>① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)</td> <td>85.2%</td> <td>87.4%</td> <td>-</td> <td>本指標は、3か年の計画であるため最終目標値の年度はH29末である(残り2か年は重点計画へ)</td> </tr> <tr> <td>② 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)</td> <td>48.9%</td> <td>49.0%</td> <td>49.0%</td> <td></td> </tr> </table>								定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	85.2%	87.4%	-	本指標は、3か年の計画であるため最終目標値の年度はH29末である(残り2か年は重点計画へ)	② 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	48.9%	49.0%	49.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																					
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)																						
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	85.2%	87.4%	-	本指標は、3か年の計画であるため最終目標値の年度はH29末である(残り2か年は重点計画へ)																					
② 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	48.9%	49.0%	49.0%																						
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,566 百万円	A	1,566 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%															

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果に至った要因等を分析した。その検証結果を踏まえ今後の方針を検討するとともに、その評価に透明性、客観性、公正さを反映させるため、学識経験等を有する第三者による事後評価委員会に意見を求めた。	令和2年度	公表の方法 市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段：計画 下段：実績	
A 基幹事業											備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名		事業実施期間 (年度)
A07-001	下水道	一般	和泉市	直接	和泉市	汚水 (管渠)	新設	北部処理区 汚水管渠整備事業	汚水管 φ = 200~800mm, L = 7920m 汚水管 φ = 200~800mm, L = 6208m	和泉市	H27 H28 H29 H30 H31	1,161 611
A07-002	下水道	一般	和泉市	直接	和泉市	汚水 (管渠)	新設	泉北処理区 汚水管渠整備事業	汚水管 φ = 200mm, L = 300m 汚水管 φ = 200mm, L = 182m	和泉市		35 22
A07-003	下水道	一般	和泉市	直接	和泉市	雨水 (管渠)	新設	北部処理区 雨水管渠整備事業	雨水管 φ = 300~1350mm, L = 800m 雨水管 φ = 300~1350mm, L = 814m	和泉市		360 184
A07-004	下水道	一般	和泉市	直接	和泉市	-	改築	ストックマネジメント計画策定及び策定に伴う調査等	ストックマネジメント計画策定 (L=645km)、計画策定に伴う管口カメラ調査 ストックマネジメント計画策定 (L=645km)、計画策定に伴う管口カメラ調査	和泉市		10 10
合計											1,566 827	
B 関連社会資本整備事業											備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)		全体事業費 (百万円)
合計												
番号	一体的に実施することにより期待される効果											
C 効果促進事業											備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)		全体事業費 (百万円)
合計												
番号	一体的に実施することにより期待される効果											

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・未整備地区の污水管渠整備を進めたことにより、下水道処理人口普及率が85.2%（H27当初）から88.1%（H29末）に向上した。（+2.9%） ・都市計画道路の建設等に合わせた雨水管渠の整備により、都市浸水対策達成率が48.9%（H27当初）から49.1%（H31末）に向上した。（+0.2%）
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	87.4%	算定式	$\frac{163,631人(※1)}{187,279人(※2)}$	目標値と実績値に差が出た要因	本計画期間においては、土地所有者の承諾が必要な路線（里道・水路敷及び私道）などの整備を積極的に行ったため、普及率の向上に繋がった。 【補足】 なお、最終目標値年度の指標の算定式の分母は計画策定年度の行政人口から設定した予測値であるが、最終実績値の分母である最終目標年度末の行政人口とでは、人口変動による差が見られた。ここで、人口変動が本計画の指標に及ぼす影響を考えたときに、地域によって差はあるものの、その影響は本計画の対象である下水道未整備地区のみならず、計画の対象外である整備済地区を含む市内全域に及んでいると考えられる。算定式における分母・分子の両方が、人口変動の影響を受けることから、指標である下水道処理人口普及率が人口変動に起因して大きく変動するものではないと考える。
		最終実績値	88.1%	算定式	$\frac{163,725人(※3)}{185,936人(※4)}$		
	指標②（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	49.0%	算定式	$\frac{1,273ha(※5)}{2,596ha(※6)}$	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	49.1%	算定式	$\frac{1,274ha(※7)}{2,596ha(※6)}$ [+4.0] [±0]		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	【指標①】 <ul style="list-style-type: none"> ・河川へ流れ込む汚濁負荷量については、生活系の負荷量が大部分を占めており、污水管渠整備の進捗に伴い生活系汚濁負荷量の減少、公共用水域（市内河川）の水質改善が見られた。 【指標②】 <ul style="list-style-type: none"> ・過去10年において、下水道管渠（雨水）の能力不足による重大な浸水被害（床上浸水）等は発生しなかった。 ・都市計画道路建設等の他事業と連携して執り行った雨水管整備事業において、事業費の縮減効果があった。
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

<指標の数値について> 【指標①】 (※1) 計画策定年度(H26年度)における、計画最終年度(H29年度)に下水道が利用できる人口の目標値 (※2) 計画策定年度(H26年度)の行政人口から設定した予測値 【指標②】 (※5) 計画策定年度(H26年度)における、計画最終年度(H31年度)の浸水対策済み面積の目標値 (※6) 浸水対策を実施すべき面積		(※3) 計画最終年度末(H29年度末)における下水道が利用できる人口の実績値 (※4) 計画最終年度末(H29年度末)の行政人口の実績値 (※7) 計画最終年度末(H31年度末)における浸水対策済み面積の実績値
<污水管渠整備事業> ・本事業は重点化され別計画となったため、今後の方針は重点計画にて記載する。		
<雨水管渠整備事業> ・引き続き都市計画道路建設等の他事業と連携し効率的に整備を行う。 ・浸水被害の状況を的確に把握し、既存施設の活用を図りながら効率的な雨水管の整備を図る。		
<ストックマネジメント計画策定及び策定に伴う調査等> ・本計画期間においては、計画策定に伴う事前管ロカメラ調査を実施した。(計画策定に向けた調査のみなので定量的指標の設定は行っていない。) ・次年度(次期計画)にて、本調査結果を用い計画策定を行う。		